

工事発注時における入札不調回避の取組みについて

利根川水系砂防事務所 品質確保課 工事品質管理官 榎澤 義一

1. はじめに

表－１ 利根水系砂防事務所発注の工事の応札状況

令和２年７月の新規工事の応札状況は、入札参加者がいない等の不調工事が多発し、４月～７月の４ヶ月の工事契約率は３８％（９件／２４件）に低下していた。その主たる要

項目	H28	H29	H30	R1	R2.7 末
工事契約件数	23	23	24	29	9
工事契約率	77	82	96	62	38
不調件数	6	5	1	15	14
不落件数	1	0	0	3	1
工事手続き件数	30	28	25	47	24

因としては、令和元年東日本台風により、群馬県内においても甚大な被害が発生し、直轄砂防施設の被災に加え、県内の自治体においても被災箇所が７０３箇所、災害復旧費が２３８億円と大規模になり、県内建設会社の技術者数や下請け会社の労働者数に対して、公共工事が発注過多の状態になっていると考えられた。

そこで、工事の不調状況の改善を図ることを目的に、群馬県内の関係企業にアンケート調査を実施し、その回答を基にした対応策について報告する。

2. アンケート方法

2. 1 設問設定の配慮事項

過去の工事契約状況（受注状況、入札参加状況など）を整理し、現状把握を行った上、アンケートの結果が、改善策に直結するように以下の事項方針で設問設定を行った。

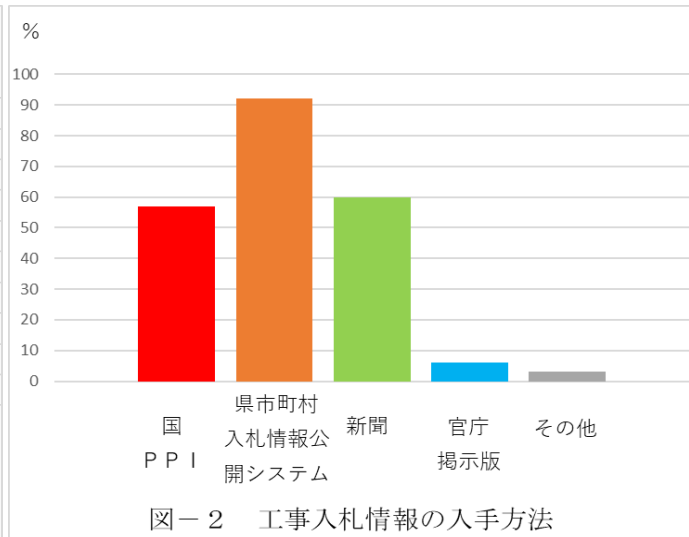
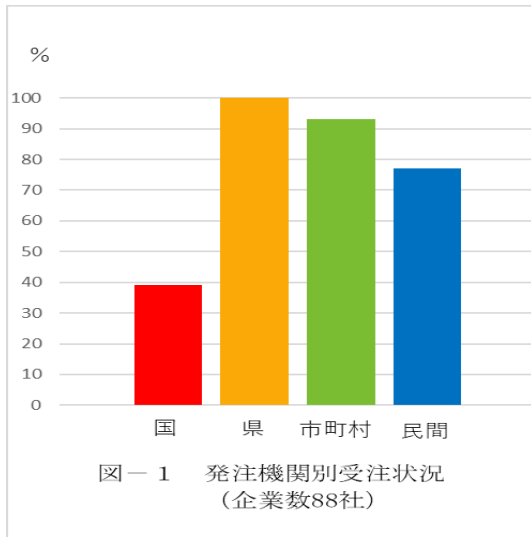
- ・回答者の属性（主な発注機関、工事分野など）に応じグルーピングを行い、各々設問を設定した。
- ・改善したい点を明確にして、対応しやすい回答を導き出せる設問とした。
- ・「受注体制」、「受注余力の有無」、「今後の見通し」、「新規入札参加の意思・障害」等の設問に対し、極力選択方式による回答、返信封筒を同封し、正確な回答を引き出せるように無記名による回答とした。
- ・新規参入を促すPR設問も設定した。

2. 2 アンケート実施方法

- ・調査対象：群馬県内本社あり、一般土木工事 C等級 企業１２７社
- ・調査期間：令和２年７月２７日～８月７日

3. アンケート結果

アンケート回収率は、69%（88社／127社）であった。工事の受注状況は、回答いただいた全企業が群馬県からの工事を受注しているに対し、国（道路河川砂防）の工事は4割に留まっており（図-1）、工事入札情報も同様に、県市町村の情報は9割以上が活用しているが、国の情報は6割以下であることが分かった。（図-2）



4. アンケートの回答と対応策

4.1 発注情報の送付

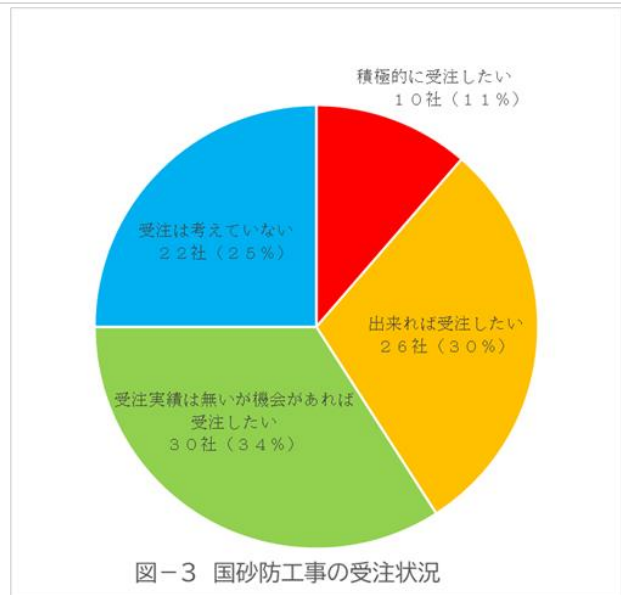
「受注実績が無いが機会があれば受注したい」と考えている企業が30社あり（図-3）、その内、県砂防の施工実績があり、直ぐに国砂防工事の入札参加できる企業が4社あったため、参加資格要件がある企業に対し工事発注予定情報を送付した。

4.2 資格要件の緩和

利根砂防工事の入札参加がない企業に対し、入札参加の条件を問うと、参加資格要件の施工実績がネックとの回答多数あったため、工事内容により、実績工事に「河川工事」を追加した。

4.3 JV従企業の参加要件の緩和

JV従企業の参加要件の緩和について要望があったため、工事内容に応じ従企業の要件「土木工事」に緩和した。



5. おわりに

今後の課題としては、更なる入札参加者を増やすために、県の砂防工事及び治山工事の実績がある約20社に対して、当事務所の入札参加を促し、工事入札環境の改善を図りたいと考えている。